



第386号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



互いを崇める



カット：本多紘子

虫も穴を出る啓蟄の候となりました。倉敷の旧家では桃の節句を雛飾りで祝うようですが、庶民の私たちは雛壇を飾る場所の余裕が無くなって雛飾りを処分した家庭が多く、少し残念ですね。季節の行事を大切にすることも残したいですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスのオミクロン株による感染拡大が世界中に広まっている中で、第24回冬季オリンピック競技北京大会が2月4日午後8時から開会式で開幕し、2月20日閉幕までに109種目が行われました。日本選手では小林陵侑選手(25)がジャンプのノーマルヒルで金、ラージヒルで銀メダルを獲得、また昨年の東京夏季五輪でスケートボードの日本代表であった平野歩夢選手(23)がスノーボードで日本選手初の金メダルを獲得し、個性豊かな若者の出現に驚かされました。

驚くと言えば、平和の祭典であるオリンピックの期間中に、ロシア軍が隣国のウクライナに侵攻するのではないかとアメリカ国防省が発表したことです。ロシアはウクライナが北大西洋条約機構(NATO)に入ると、ロシアの共産主義体制は西側諸国から刀を首に突きつけられたようで、ロシア崩壊の危機を感じたのです。だからウクライナを昔の兄弟国として何としてでも手放したくないのですね。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

『卒業』という言葉がありますが、日本では春3月に学校の卒業式が行われるところが多いです。国語辞典にも①学校の全教科または学科の課程を修了すること。②ある状態・段階を通過すること。③一つの事業を完了すること。とありますが、人間は歴史が始まって以来から仲間と喧嘩し奪い合い、文明が発達しても争いや紛争また侵略戦争は無くならず、地球の環境を壊し続けています。戦争は弱者だけでなく強者も傷ついていくことを歴史で学んだにもかかわらず、人間はいつになつたら紛争や侵略戦争を『卒業』するのだろうか。

仏教の言葉に『自利利他円満』とあります。『自利』とは自らを利するの意で、努力勤勉して修道の功を積み、それによりもたらされる善い効果の利得を自分一個だけに受け取ることをいい、『利他』とは他を利するの意で、自分の利害損得のためでなく他の人々の救済のために尽くすことを言います。この両者を合わせて仏の境地が満ち溢れるのが大乘仏教の目的とする世界です。学問で知識を増やし、自分の出世や金儲けのためだけに生きる人は餓鬼・畜生であり、病人や生活に困っている人々を助け導く人こそ利他行であり菩薩道です。中途半端な人助けは、反って相手を苦しめるだけなので難しいですね。

『大無量寿経』に「仏の教えが行き届き、実践されている国や町の人々は、他人を思いやる心が大きい。そうなれば天下は和らいで時候も順当に、日も月も清く輝いて、そよ風やその時その時の必要な雨も降り、災厲おこらず、国豊かに民やすらげ、兵士や武器が不用になる。人々は互いに徳を崇め仁を興して、すべての人を敬い慈しむ」とあります。相手のことをよくよく理解し、相手の気持ちになると争うのではなく、助け合い励まし合うことが出来るのでしよう。

戦争が起これば、軍需産業は大儲けです。ミサイルや軍用機、また潜水艦や空母などに莫大なお金をかけるより、世界中の困っている人々に食料や衣料、または医薬品を届けてあげられるような、心豊かな人々を育てなければ、人類は早急に滅びますよ。合掌(奥原 曇龍)

『敵はなし生き方違えど人は人 互いを崇め助けあおうよ』 どんりゆう

日時・三月 九日「水曜日」 午後一時半から四時まで。
『歎異抄(たんにしょう)に学ぶ』
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様がたり

お釈迦様が35歳で成道後、はじめて生国のカピラ城を訪問され、それから後もしばしば訪問された中に、ほぼ成道15年の50歳の頃、釈迦族の有力な6人の子弟と、1人の理髪師が出家してお釈迦様の弟子となった。

釈迦国を訪問して、そこを去り、東南方のマッラー国におられたときに、連れだつて後を追いかけて、出家を願つて、同時に出家したのであった。アーナンダ(阿難陀)、アヌルツダ(阿那律)、バツディヤ(跋提王)、キンピラ(金毘羅)、バグ(婆答)、ダイバダッタ(堤婆達多)、ウパーリ(優波離)の7人であつたが、ウパーリだけは彼ら王族に仕える理髪師で奴隷階級の身分であつた。

お釈迦様は、釈迦族の人たちが我が強く傲慢であつたので、その悪い性質を打破するため、仏教教団内では、世俗的階級をまったく認めないのであるから、教団内まで世俗的な慣習を持ち込ませないために、この7人の中で卑賤な階級のウパーリを最初に、その後王族達の子弟を出家させ、ウパーリを彼らの上に置かれました。比丘の位置は出家した順に依るからです。

ウパーリは後に戒律の専門家となり、仏弟子中の持律第一として、お釈迦様が亡くなられた直後の第一結集(仏教経典編纂会議)では、大会衆の前で律蔵を誦出(大声で読み上げる)し、それが今日の律蔵の源泉をなしています。

アヌルツダは、お釈迦様とは従兄弟であつて、誠実で優しい人でした。ある時、お釈迦様が祇園精舎において説法の最中であつて、居眠りをしたのを大いに叱られ、以後仏の前では決して眠らないと誓い、その無理がたつたって盲目となりました。しかし肉眼を失つた代わりに、心の眼を得て、天眼第一と称せられていきます。お釈迦様はアヌルツダのことを温かく見守り続けました。合掌(奥原豊彦)

ともしびに夜半のそよ風心光寺 彼岸桜の花びらが舞う 田辺多恵子



2月12日 心光寺山門の前で曇龍住職・坊守とともに

ともしび法話

春浅くいまだ風が冷たく感じます。皆様お元気でしうか。3月は春のお彼岸月で御先祖様を大切に偲びたいですね。住職も新型コロナウイルスの3回目接種を2月17日に受けました。人と接する機会が多いので予防できたら嬉しいですね。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

日増しに春らしくなってきました。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染の心配や南海トラフの大地震の心配、台風や大雨の心配とあれこれ悩みは尽きませんが頑張ろう。倉敷市藤戸天城 縄田 君子

北京の冬季オリンピックも無事に閉会式を迎え、選手の人たちもホッとしたことでしょう。様々な新しい競技に驚きましたが怪我と紙一重なので選手も命懸けですね。倉敷市西坂 貝原富美子

春が来て卒業式を待ち受ける 若者達に未来を輝け 年寄りよ死ぬまで長生き頑張ろう 説法聞いて笑顔絶やさず

倉敷市中島 山田 孝治

ともしび説法

日時・三月 九日「水曜日」 午後一時半から四時まで。

『歎異抄(たんにしよう)に学ぶ』

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

四月十七日(日)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

四月は春の永代経法要と仏教講演となっております。

五月十一日(水)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

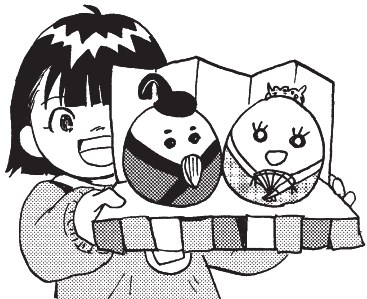
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。

ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



こころの詩

桃の節句がやってきた
春の匂いを風がはこんでくる
人として自分らしく生きたいと
踏み外した道にも気づかず
へらへらとした独りよがりの道
ほめられもせず苦にもされず
曲がった道を曲がりながら進む



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「386号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦